

## 〈 施工説明書 〉

安全に正しくお使いいただくために  
**必ずお守りください**カウンター21<sup>mm</sup>用レール株式会社 **ウッドワン** 〒738-0023  
広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口



0120-81-3331

このたびはウッドワンの商品を御利用いただき、誠にありがとうございます。  
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意



## 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

## 警告!

## ・下地をしっかりと準備する。

当製品は、壁面に直接固定するため、間柱・補強桟等の下地処理が不十分ですと転倒、脱落してケガの原因となりますので所定の位置に躯体下地の準備をしてください。



禁止

## ・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより劣化が進む原因となります。

## ・商品の仕様変更や改造はしない。

レールの仕様変更や改造はしないでください。強度が失われることがあります。

## ・レールに乗ったり、ぶら下がったりしない。

レールを踏台やベンチとして使用したり、ぶら下がったりしないでください。レールが破損してしまうおそれがあります。



必ずおこなう

## ・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の部品、金具類を使用してください。

## 注意!

・耐荷重は950<sup>mm</sup>=10kg以下、  
1,950<sup>mm</sup>=20kg以下です。

耐荷重以上の物を載せないでください。物が落下するおそれがありますので、不安定な物、危険な物、高価な物など置かないでください。

・カウンター21<sup>mm</sup>用レールは、  
棚板奥行165<sup>mm</sup>、235<sup>mm</sup>を使用する。




棚板奥行き指定寸法を超えた寸法の棚板を取り付けると金具が破損したり脱落してケガの原因となります。



	金具長=950 <sup>mm</sup>	金具長=1,950 <sup>mm</sup>
耐荷重	10kg以下	20kg以下

## 梱包内訳表




梱包を開いたら本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。



### 950mm用

部材名	数量
 レール	1本
 スペース	1本
 サイドカバー(左右1枚づつ)	2枚

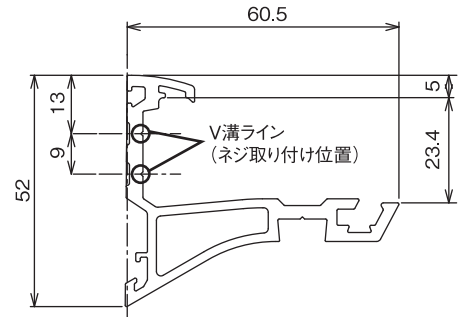
部材名	数量
 ナベタッピングビスφ4×18mm	2本
 ナベビスφ4×60mm	6本

### 1,950mm用

部材名	数量
 レール	1本
 スペース	1本
 サイドカバー(左右1枚づつ)	2枚

部材名	数量
 ナベタッピングビスφ4×18mm	3本
 ナベビスφ4×60mm	10本

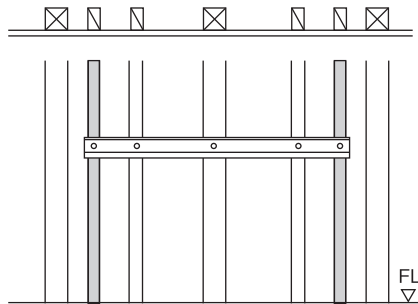
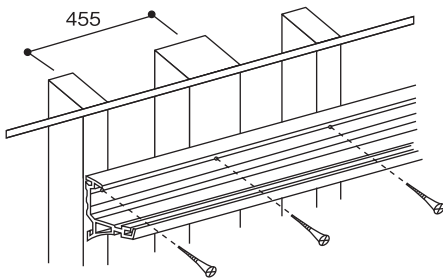
## レール形状図



# 1. 施工手順

## ① 設置前の準備・注意点

455mmピッチでビス固定してください。また、レールの両サイドは間柱等を入れ、確実に固定してください。



### お願い

ボードに墨出しを行い、確実に下地材にビスが効くようにしてください。

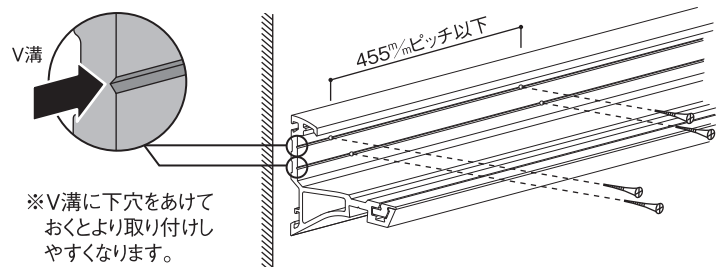
## ② レールの取り付け

- ・水準器にてレールが水平である事をご確認ください。
- ・同梱の壁取り付けビス(ナベビスφ4×60mm)で下地(柱)にしっかりと固定してください。
- ・ビスの打ち込み間隔は455mmピッチ以下としてください。

※アルミの切粉が出た場合はキレイに取り除いてください。

### お願い

- ・壁面に押し付けてレールを固定し、ビス留めしてください。
- ・作業を効率よく進めるためにも、レールにはあらかじめ下穴を開けておくことをお勧めします。



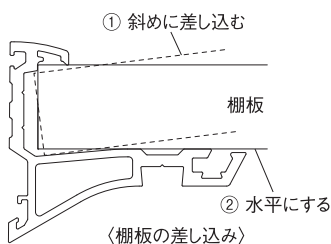
### ③ 棚板の取り付け

- ・棚板を金具の奥までしっかりと差し込んでください。
- ・アンクル底のV溝ラインから、同梱の棚板取り付けビス(ナベタッピングビスφ4×18<sup>mm</sup>)で棚板をしっかりと固定してください。

※V溝に下穴をあけておくことより取り付けしやすくなります。

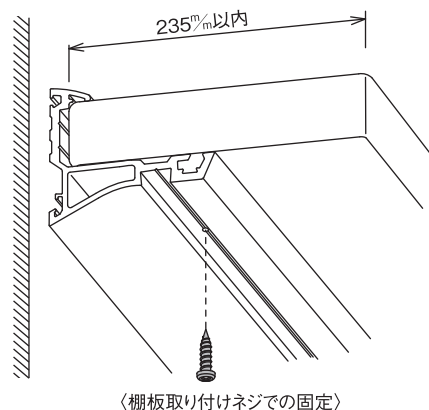
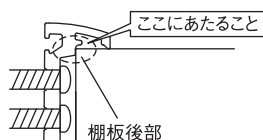
#### お願い

- ・棚板をレールいっぱいまで差し込み、ビス留めするようお願いいたします。
- ・作業を効率よく進めるためにも、レールにはあらかじめ下穴を開けておくことをお勧めします。

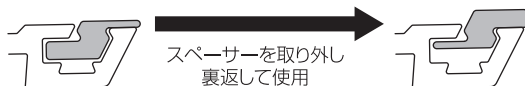


#### 注意

棚板は必ず右図のように取り付けてください。



※棚板のたれ下がりが大きい場合は右記の方法で調節が可能です。

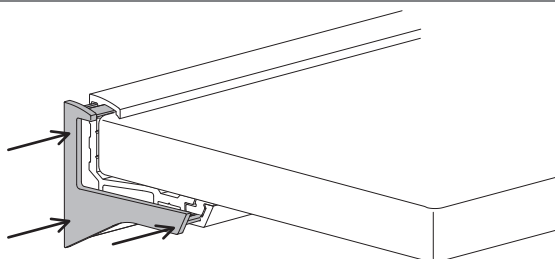


※スペーサーは梱包時に本体にセットされていますが、ずれていたり外れている場合は差し込みなおしてセットしてください。

### ④ レール両サイドキャップの取り付け

- ・レール側に3ヶ所の差し込み口があります。そこへキャップの「脚」を差し込んでください。
- ・キャップのツメがきちんとレールの取り付け位置にはまっていることを確認してから、押し込んでください。

※レールの切断面でケガをしないよう気をつけてください。



### 施工終了後

#### 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーし、傷の付かないようにしてください。

#### お手入れのしかた

棚板が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

